郡上市 2026.11 No.91

# 議会だより




**「夏休み こども議場見学会」**
（令和８年８月22日 開催）

## 目 次

令和７年度決算認定 …… 2
決算認定 Q&A …… 4
委員会活動報告 …… 5
９月定例会 …… 7
一般質問　郡上の課題を問う …… 8
クイズの答え …… 13
皆さんからの声・議長のお部屋 …… 14
夏休み　こども議場見学会 …… 15
クイズコーナー・編集後記 …… 16

# 成果と課題を問う決算



## 決算の概要

令和７年度の一般会計は、歳入317億581万円、歳出290億4,825万円となった。前年度と比べ、歳入は2.0%、歳出は6.8%減少した。翌年度への繰越財源を除いた実質収支は25億6,768万円で、前年度から14億8,953万円増加した。

一方、経常収支比率は88.6%と前年度より1.3ポイント上昇し、経常的な支出が財政を圧迫する状況も見られた。決算資料では、自主財源の確保や経常経費の見直し、行財政改革と財政健全化の推進が課題として挙げられた。事業の成果を確かめ、必要な見直しを進めながら、将来世代に負担を残さない持続可能な市政につなげていくことが求められる。

### 令和７年度 各会計の決算額

| | | |
|---|---|---|
| 一般会計 | 歳　入 | 317億　581万円<br>（6億4106万円減額） |
| | 歳　出 | 290億4825万円<br>（21億0111万円減額） |
| 特別会計 | 歳　入 | 117億2507万円<br>（95万円減額） |
| | 歳　出 | 113億4580万円<br>（2878万円増額） |
| 水道事業会計 | 純利益 | 1億　808万円<br>（5849万円増額） |
| 下水道事業会計 | 純利益 | 1億2257万円<br>（7767万円増額） |
| 病院事業会計 | 純利益 | △2724万円<br>（1億5752万円増額） |

※金額の△はマイナスを表しています。
※（）は令和６年度の決算額との比較です。
※水道事業会計、下水道事業会計、病院事業会計は一般会計からの繰入れを含みます。

令和7年度 決算認定

# 山川市政2年目

## 産業・雇用・観光振興

●市内の若者が企画・運営した大規模マルシェイベント「ミチトキテン」の開催を支援し、東海北陸自動車道等の沿線地域との交流を図った。



「ミチトキテン」の様子

●若者の住宅新築や増改築に対し、市産材の使用量に応じた奨励金を交付し、若者の定住促進と市産材の利用拡大を図った。

## 教育・文化・人づくり

●「シン・郡上学」を推進し、文化財の見学や体験活動、地域づくりを通じて、郡上を愛し未来を創る人材の育成に取り組んだ。

●市内外の高校に通う生徒の通学費や寮・下宿費の補助を行った。

## 健康・福祉

●土砂災害警戒区域に位置する明宝保育園の安全上の問題を解消するため、明宝中学校の校舎の一部を改修して移転し、保育と教育の複合化施設として整備した。


移転した明宝保育園

●移動販売事業者の運営や新規開業者の車両購入を支援し、高齢者の買い物環境の充実を図った。

## 環境・防災・社会基盤

●令和7年6月の豪雨で被災した大和町、白鳥町を中心とする市道・河川・橋梁の早期復旧に取り組んだ。

●森林経営管理法に基づき、手入れが行き届いていない森林の整備等を実施した。

●南部斎苑の空調設備を更新し、照明をLED化することで、施設の長寿命化を図った。

●導入から13年が経過した無線回線制御装置などを更新し、通信の安定化と機能強化を図った。

**物価高騰対策として国の重点支援地方創生臨時交付金を活用した郡上市独自の支援事業を実施!!**

**【長引く物価高騰や原油価格の高騰などから市民のくらしや地域経済を守るため事業を実施】**

●「郡上市共通商品券」を市内全世帯に対し、1世帯あたり2万円分配布した。

●市内の登録店舗でガソリンや灯油などの購入に使用できる「燃料購入支援クーポン」を市内全世帯に対し1世帯あたり6000円分配布した。

●障がい福祉事業所・介護サービス事業所・児童福祉事業所・医療機関や、移動販売事業者・配食サービス事業者・個別移送サービス事業者に対し支援金を交付した。

●介護・福祉の現場を支える介護職員などを対象に、1人当たり3万円の支援金を支給した。

**【食材費の高騰が学校給食にも影響を及ぼす中、子育て世帯への支援として、保護者の経済的負担軽減や給食の質の確保と安定的・継続的な提供をするため事業を実施】**

●給食費無償化支援事業として幼稚園・保育園・認定こども園及び小学校・特別支援学校の保護者に対し、令和8年2月・3月分の給食費を無償とした。

●学校給食価格高騰対策事業として、小・中学校及び特別支援学校の給食の質の確保のため物価高騰分の賄経費を負担した。


学校給食の様子

# 決算認定特別委員会　主な審議内容 Q&A

委員長に森藤文男委員、副委員長に田代まさよ委員を選出し、9月7日、8日、9日の3日間にわたり審査しました。
本会議最終日に委員長が報告したのち、採決し認定しました。

## 歳入

**Q 固定資産税は合併時と比較するとどのような増減がみられるか**

A 令和7年では前年度より増額となっているが、長期間においては、右肩下がりの形が現在も続いている。

## 歳出

**Q 無線放送は設置から年数が経過している。今後の更新計画は**

A 一斉に更新するには何十億円という費用が掛かる。代替手段等見極め検討したい。

**Q ケーブルテレビが民営化された場合に事業費などはどの程度削減されるのか**

A 民営化を行わなければ、将来的に9億円かかる見込みであるが、民営化となれば、設備更新・維持費など約6億円は譲渡先が負担することになり市の負担は大幅に軽減される見込みである。

**Q 男女共同参画推進事業で男性をターゲットにした啓発や相談をどのようにひろげているか**

A 男性からの相談などを受け付けられる体制を整えている。より男性が参加できるイベント企画や情報発信に努める。

**Q 移動販売による買い物困難者や見守り活動の効果は**

A 市内外の業者は約10件。買い物支援に加え、社交の場、生存確認など福祉的な効果を果たしている。隙間地域や曜日の不均等がないかデータ収集・調査を検討する。



移動販売の様子

**Q 7地域観光協会と市観光連盟は将来的に統合するのか**

A 観光連盟が主催し各会長を委員とする総合委員会にて統合に向けた協議を行っている。統合の動きを加速させる。

**Q 鮎を捕る鳥が増えているが対策は**

A カワウとカワアイサは、定期的に駆除をしている。最近増えているサギについては捕獲対象になっていない。調査して県に報告し対策したい。

**Q 生活保全林整備事業の利用が進まない理由は**

A 令和7年度より1割の地元負担が増えたことや所有者の同意が得られず、3件の取り下げとなった。制度の概要や要件など周知を図り利用促進に努める。

**Q 介護従事者支援の実績は**

A 申請された対象者678人全員に、1人当たり3万円を確実に給付した。

**Q 居宅・施設介護サービスの利用状況は**

A 居宅サービスは低迷し、特にデイサービスの利用率は7割強と低い。居宅サービスの経営が苦しい状況を把握している。

**Q 介護認定の審査は認定までの期間や遅れはないか**

A 申請から大体1か月以内の認定を目指して事務を進めている。

**Q 水道管路更新率0・2%では、全部更新するのに、約476年かかる。この更新率の評価は**

A 更新計画12・2㎞に対し実績は約6・4㎞である。今後は人口減少等を踏まえ、耐震化・更新の対象を精査し次回のビジョンの見直しに取り組む。



管路更新工事

# 委員会活動報告

## 産業建設常任委員会

### 地域資源を活用した地域振興を視察

7月21日　奈良県宇陀市

#### 歴史的町並みの活用

産業建設常任委員会では、今年度の活動テーマを「地域資源を活かした持続可能な産業・観光の振興と安全・安心な社会基盤の構築による災害に強いまちづくり」と定め、視察や活動を進めています。7月21日から22日まで、奈良県宇陀市、川上村、京都府南山城村を行政視察しました。

宇陀市では重要伝統的建造物群保存地区「宇陀松山」で、歴史的な町並みを守りながら、空き家などを民泊や飲食店として活用する取組を視察しました。また、古くから薬草や製薬業と関わりが深く、その歴史を生かした企業との連携や地域の魅力づくりについても学びました。補助制度や大学との連携など、本市の歴史文化資源の保存と活用を考える上でも参考となるものでした。



歴史的町並みを使いながら残す取組を視察



林業振興と移住・定住を結ぶ取組を視察

7月22日　奈良県川上村・京都府南山城村

#### 森林とお茶の地域経営

川上村では森林環境譲与税を活用した造林や搬出への支援、地域おこし協力隊による人材確保、村産材住宅への助成を視察しました。林業振興と移住・定住施策を結び付け、森林を次世代へつなぐ取組から、郡上の森の価値を整理し、市内外へ伝える必要性を学びました。

南山城村では、お茶を「むらちゃ」としてブランド化し、道の駅を核に商品開発、販売、雇用創出を進めています。指定管理料に頼らない独立採算の経営と生産者が主体となる仕組みが成果につながっていました。

三地域の事例をそのまま当てはめるのではなく、本市の森林資源、歴史文化、農産物、観光資源の強みと課題を整理し、実情に即した提言につなげます。



道の駅を核とした地域経営を視察

## 文教民生常任委員会

### 多様な学びと居場所を視察

7月8日　京都府京都市

#### 京都市洛風中学校

不登校を経験した生徒一人ひとりの状況やペースに応じた学びを保障し、安心して過ごせる居場所づくりを大切にしていました。生徒の主体性を尊重し、家庭や専門機関とも連携しながら、多様な体験を通して自信を取り戻す支援が印象的でした。

本市でも学びの場や自分らしく過



校舎内を見学する様子

# 委員会活動報告

ごせる居場所と支援体制をさらに充実させること・切れ目のないつながりが必要と感じました。

## 7月9日　滋賀県甲賀市　やまなみ工房

障がいの有無にかかわらず、一人ひとりの個性や「やりたいこと」を尊重し、本人らしい活動や社会参加を大切にしていました。絵画や彫刻の作品や活動を福祉の枠にとどめず一人のアーティストとして社会に発信する姿勢が印象的でした。本市でも障がいのある方が持っている力や個性を生かし、文化・芸術・就労などを通して地域の中で活躍できる場を広げたいと感じました。



工房内の作品鑑賞

## 7月9日　岐阜県岐阜市　一般社団法人サスティナブル・サポート

ひきこもりや障がい、離職など働きづらさを抱える人と企業をつなぎ、就労や社会参加を支援していました。就職だけを目的とせず、働くことを通じて社会とのつながりを取り戻す視点が重要です。本市でも福祉・商工・雇用・企業などが連携し、一人ひとりの状況や希望に寄り添いながら働く場や社会参加の機会を作っていくことが大切だと感じました。



サスティナブル・サポートの説明を受ける様子

## 濃飛横断道整備促進特別委員会

# 早期完成へ　国に要望重ねる

### 濃飛横断道の整備促進

濃飛横断自動車道は、東海北陸自動車道と中央自動車道を結び、地域間交流や災害時の広域的な道路ネットワークを支える重要な高規格道路として整備が進められています。

郡上市内の和良工区では、道路詳細設計や丈量測量、橋梁詳細設計が行われ、1工区の丈量測量が完了するなど、事業が着実に進んでいます。7月には八幡町初納地内に地元自治会と市の連名による早期完成促進看板が設置され、整備促進への機運を高めています。




八幡町初納地内に設置された早期完成促進看板

7月13日には、中津川市で開催された合同促進大会に参加し、リニア中央新幹線開業を視野に入れ早期開通が待たれる中津川工区を視察しました。

10月19日には、東白川村で開催された、濃飛横断道・三市一村議会委員会合同会議（中津川市・郡上市・下呂市・東白川村で構成）に参加し、事業計画や、堀越峠道路の早期着手・八幡工区の早期事業化などを求める要望活動などを協議しました。また、中部地方整備局の道路調査官から講演を受けました。




濃飛横断自動車道 合同促進大会の様子

# 9月定例会

## 条例の一部改正

（全会一致）

**主なもの**

**●印鑑条例の一部改正**

国のシステム標準化に伴い、登録事項から性別の削除や非漢字圏の外国人住民の氏名のカタカナ表記の追加など、印鑑登録の内容の見直し。

**●社会教育施設設置条例の一部改正**

老朽化のため美並南部コミュニティーセンターの機能を周辺施設に移転し、廃止する。

## 令和8年度一般会計補正予算

（全会一致）

**2億6222万円増額**

**主な補正予算の内容**

**●高齢者物価高騰対策支援事業**

国の交付金を活用し、物価高騰の影響を受ける高齢者を支援するため、75歳以上のみの住民税非課税世帯に対し1世帯1万円給付

2416万円増額

**●入学準備等支援事業**

国の交付金を活用し、子どもの入学準備などにかかる家庭の負担を支援するため、小・中・高の各新入生に1人あたり1万円給付

936万円増額

**●小・中学校ICT教育推進事業**

小・中学校の指導者用タブレット端末の購入

3176万円増額

## 契約の締結

（全会一致）

**●美並地域統合小学校校舎新築工事**

建築工事
契約先　㈱高垣組
金　額　10億5940万円

電気設備工事
契約先　㈱郡上電気
金　額　1億5774万円

機械設備工事
契約先　㈱和田梅
金　額　2億1997万円

**●郡上偕楽園養護棟建設工事**

建築工事
契約先　㈱ヤマシタ工務店
金　額　5億985万円

機械設備工事
契約先　㈱畑中水道
金　額　1億6720万円

## 請願

**国に対し非核三原則の堅持を求める意見書提出に係る請願**

（賛成少数で不採択）

請願団体　ミライの学校

この請願は総務常任委員会に付託され、賛成少数で不採択となった。

**総務常任委員会での主な意見**

・核兵器のない世界を望む心情には共感できるが、核の傘への依存という現実を棚上げすることになるのではないか。
・核共有の議論や安全保障三文書の改定の検討など情勢は変化しており状況を見て精査する必要がある。
・議会として平成16年の「非核平和都市宣言に関する決議」以降非核平和を訴えてきた。願意には共感するが意見書の内容や提出時期を検討する必要があり趣旨採択とすべき。

◀その後、本会議において議員から、趣旨採択とすべきだとの修正動議が出されたが、採決の結果、修正案は賛成少数で否決となったため、請願（原案）の賛否を問う採決を行った結果、賛成少数で不採択となった。

**請願を趣旨採択とする修正動議**

大坪隆成議員、有井弥生議員

願意は受け止めるべきだが、意見書の提出は時期や内容を含め検討が必要である。

**請願に賛成の討論**

野田かつひこ議員

核持ち込みの「密約」があるとは言え、非核三原則を崩せば日本は事実上の「核保有国」と国内外に宣言するに等しい。若い世代の市民が未来のために政府に願いを届けたいという思いを、議会として前向きにとらえていただきたい。

## 国に意見書を提出しました

**●観光客の冬季安全対策を求める意見書**

（全会一致）

（意見書の要約）

日本有数のスキー場を有する本市への観光客の増加に伴い、冬用タイヤ未装着車による立ち往生や渋滞が頻発し、市民生活などに重大な支障が生じている。地域の対応には限界があるため、レンタカー事業者への冬用タイヤ装着等の義務化に向けた法制度の整備や、観光地への道路環境の更なる整備を強く要望する。

（提出先）

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、国土交通大臣、国家公安委員会委員長、警察庁長官

# 一般質問

# 郡上の課題を問う

## あなたの声を市政に



一般質問とは、市の行政全般について、議員が市長をはじめとした執行機関に質問を行い、答弁などを求めることです。９月定例会の一般質問に14名の議員が登壇しました。質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

※下記の表中、☑ がある内容を掲載しています。全ての質問は次ページからの各議員欄にある二次元コードから YouTube にてご覧いただけます。

郡上市議会の YouTube

| | 議員名 | | 質問事項 |
|---|---|---|---|
| 1 | 原　喜与美 | ☑ | 1．地域消防団の今後のあり方は |
| | | □ | 2．地域計画の策定結果と実践状況は |
| 2 | みずの　まり | ☑ | 1．ふるさと納税の現状と課題について |
| | | □ | 2．ふるさと住民登録制度と今後の展望について |
| 3 | 長岡　文男 | ☑ | 1．地域公共交通の再構築について |
| | | □ | 2．人口減少時代の行政運営の転換について |
| 4 | 和田　樹典 | ☑ | 1．お城山一帯の整備について |
| | | ☑ | 2．郡上八幡城の入場料の適正化について |
| 5 | 本田　教治 | ☑ | 1．避難所における障がい者への対応について |
| | | □ | 2．電子投票について |
| 6 | 有井　弥生 | ☑ | 1．地域での高校の存在意義と魅力化について |
| | | □ | 2．おひとりさまが安心して暮らせるまちへ |
| 7 | 野田　かつひこ | ☑ | 1．学校給食費の物価変動への対応は |
| | | □ | 2．個人情報保護と情報提供の整合性は |
| 8 | 清水　敏夫 | ☑ | 1．大規模面積自治体の連携で全国サミットを |
| | | □ | 2．R９年度予算編成の歳入について |
| | | ☑ | 3．廃業された観光宿泊施設に市の対応は |
| 9 | 蓑島　正人 | □ | 1．生活道路の自動車法定速度の引下げ注意点は |
| | | □ | 2．岐阜県の電子投票導入への条例制定について |
| | | ☑ | 3．夏休みに楽しみな夏のプールはどうなるか |
| 10 | 田代　まさよ | ☑ | 1．県北西部地域医療センターについて |
| | | □ | 2．災害関連死について |
| 11 | 森藤　文男 | ☑ | 1．中学生の自転車通学について |
| | | □ | 2．郡上市清流長良川等保全条例と鮎について |
| | | □ | 3．インフラツーリズムについて |
| 12 | 大坪　隆成 | ☑ | 1．人口減少下の福祉・医療提供体制 |
| | | □ | 2．人口減少を前提とした市政運営 |
| 13 | 山田　智志 | ☑ | 1．地球温暖化対策推進法に基づいた取組状況 |
| | | □ | 2．子供の居場所づくり支援事業について |
| 14 | 北山　浩樹 | ☑ | 1．中部縦貫道開通と白鳥IC周辺整備・再編 |

※一般質問のページに関しては、各質問者の責任で掲載しております。



## 地域消防団の今後の対策は

**原　喜与美 議員**

**人口減少・高齢化により地域消防団の存続が困難。地域には必要不可欠な組織であり、今後も存続に向けた方策を伺う。**

**問**　人口減少などで地域消防団の存続が難しい中、常備消防と連携した存続の方策は

**答**　令和6年から5年を1期とする3期計画で再編と適正配置を進め、3方面隊で実施した。常備消防との合同訓練など年7回の訓練で連携を強化している。10月からは「企業連携機能別消防分団」を運用し、将来の広域化も見据え中濃圏域での指令センター共同運用を研究している。



郡上市消防団の幹部研修会の様子



## ふるさと納税は次のフェーズへ

**みずの まり 議員**

**国の規制強化で、寄附額や返礼品数を競う時代から転換期を迎えている。関係人口づくりを見据えた今後の方針を問う。**

**問**　返礼品競争の延長ではなく、関係人口への投資など次のフェーズを見据えた方針転換が必要では

**答**　おどりやウインタースポーツのファンにも寄附の伸びしろがある。一方で、国のルール厳格化は制度の意義を再認識する契機であり、郡上を応援したいと思える事業や魅力を打ち出す方針への転換も必要である。ふるさと住民登録制度を活用して、関わりの裾野を広げ、二地域居住や移住につながる「見える」関係人口づくりに取り組む。




寄附金の活用先と寄附実績



## 公共ライドシェアの導入を目指す

**長岡　文男 議員**

**各地域の特性を踏まえたバス運行の見直しが進む中、今後の公共交通システムをどう考えるか質した。**

**問**　一部地域のデマンド型バスや、先進地の「チョイソコ」など新交通システムの導入は

**答**　交通課題の解決策は、「住民自らが主体となって考え、実践する公共ライドシェア」しかないと考えている。現在の見直しの成果を見極めながら、新制度に対する住民理解を深めつつ、将来的には住民主体の公共ライドシェアの導入を目指したい。




公共ライドシェア



## 郡上八幡の城山一帯の整備は

和田　樹典 議員

**観光の目玉でありランドマークでもある郡上八幡城は、再建100周年を控える。城山一帯の整備と入場料の在り方を問う。**

**問** 市街地から天守閣の半分しか見えない現状を、石垣まで見えるように整備にできないか

**答** 眺望確保に向け、試験的な枝払いを行い、専門家の助言を受けながら検討していくが、石垣を見える程度にまでは困難。

**問** 郡上八幡城の市内小中高生の入場料を無償化できないか

**答** 個人利用の無償化は現時点で考えていないが、子どもたちが訪れやすくなる仕組みを教育委員会や学校関係者と協議していきたい。



八幡市街地から見た郡上八幡城



## 災害時における障がい者避難は

本田　教治 議員

**災害時に、障がいのある方への避難所の対応を問う。**

**問** 災害時、避難所において障がい者用にスロープやバリアフリー、プライバシー配慮策は整っているか

**答** 避難所一律に段差解消工事、スロープ器具購入は費用面から困難であることから、障がい者に対応した近隣施設、福祉避難所への直接避難誘導方法の検討を行う。

**問** 厚労省発行の「避難所などでの障がい者への支援」のリーフレット配布は行えないか

**答** 障がいの特性など理解を深める有効な資料である。情報量が多いことから紙媒体の全戸配布ではなく、ホームページ、公式LINEなどによる周知を検討する。



車椅子利用の指定避難所



## 市内２高校の存続と魅力化は

有井　弥生 議員

**少子化が進む中、郡上高校・郡上北高校の存在意義をどう捉え、地域と連携した高校魅力化を今後どう進めるか。**

**問** 市内2高校の存続と魅力化に、市はどう取り組むのか

**答** 2校は本市になくてはならない高校であり、機会あるごとに県教育委員会へ存続を要望する。地域みらい留学は県との調整や住まいなどの受け入れ態勢に課題があり、時間を要することから、市は岐阜大学が中心となる「ネットワーク大学コンソーシアム岐阜」によるサテライトキャンパス構想への参画を目指す。高校生が県内大学の単位を取得できる「先取り履修」をはじめ、幅広い年代がともに学べる機会を創出したい。




地域とともに歩む郡上北高校



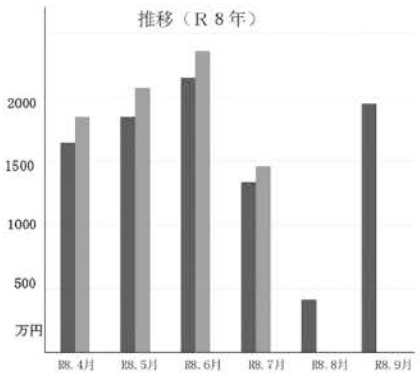
## 給食費の物価変動への対応は

**野田 かつひこ 議員**

**「若者支援」として先進的にスタートした給食の無償化も、物価高騰の影響が懸念される。その実情と対応を質す。**

**問** 学校給食費の予算額と実績額はどのようか、超過した場合の対応は

**答** 物価高騰などの影響で4月以降、予算額に対し110～112%の実績額となっている。9月補正で対応した。給食の質や量を落とさず予算内に納める努力を続けるが、それでも難しい場合は、価格高騰分を保護者に負担いただくのではなく、補正予算で対応する予定である。




月別給食費の予算額（左）と実績額（右）



## 大規模面積市町の全国サミットを

**清水　敏夫 議員**

**全国には面積1000平方キロを超える自治体が29市町ある。市長が先頭に立ち全国サミット開催を問う。**

**問** 大規模市町は自然・歴史文化に恵まれる反面、人口減少など課題も大きい。相互の連携は

**答** 県内最大の高山市と、県内2位・全国27位の面積を持つ本市は隣り合っている。高山市と意見を交わし、考えを深めたい。

**問** 当市の玄関口で観光をけん引した「ホテル郡上八幡」が廃業後の現状と、市の対応策は

**答** 同施設の閉鎖は残念で重く受け止めている。民間の破産手続き下であり、市の関与はできないが、破産管財人などからの情報の収集と適切な管理を求めていく。



当市観光振興に貢献された「ホテル郡上八幡」



## 夏休みの水泳機会の確保は

**蓑島　正人 議員**

**学校プールを取り巻く課題を踏まえ、子どもたちが安全に泳ぎ、水に親しめる機会を今後どう確保していくのかを問う。**

**問** 夏休みに泳ぎ、水に触れられる場所や機会をどう残していくのか

**答** 猛暑や安全管理体制の確保、施設老朽化などから、従来の形での夏休みプール開放は困難である。今後は水泳学習環境の充実に加え、川遊びや体験活動、安全指導を通じて、家庭・地域・関係機関と連携し水に親しむ機会を確保していく。



郡上の水とともに育つ子どもたち



## 県北西部地域医療センターの今後は

田代 まさよ 議員

**県北西部医療センターは周知がされていないと感じる、現在の役割や取組は。センターの周知と医療地域の拠点としてどのように活かしていくのか。**

答 へき地の医療を支えるための仕組みとして本市、高山市、白川村が連携している。在宅医療のほか市民講座・オープンカフェの開設、オンライン診療なども行っている。人生や生活からその人を切り取らない医療である総合医療を推進していく。

問 白鳥病院を地域医療の拠点として先を見据えてどう活かすのか

答 高性能カメラを搭載した医療MaaS（移動診療車）を導入、これが大きく医療を変えてくれると思う。センターの受け持つ仕事は大きなものであり、どんな形で発展的な運営ができるかを考えている。

当センターのロゴマーク



## 中学生の安全な自転車通学対策は

森藤　文男 議員

**今年4月施行の交通反則通告制度（青切符）を踏まえ、交通安全教育と暑さ対策への市の対応を問う。**

問 新制度に対する学校現場での指導、教育的アプローチへの市の取組は

答 「郡上市交通安全プログラム」との連携により、道路環境の改善だけでなく具体的な危険箇所や行動を生徒自身にも考えさせる交通安全教育を進めていく。

問 近年の暑さ対策として、通年の自転車通学者のスクールバスへの移行も検討すべきではないか

答 新たなバスダイヤの設定や運行経費増、地域特性を踏まえた公平性など、一律導入は難しいが、命に関わる場合などは随時対応していく。



自転車歩道通行可の標識



## 地域ごとの介護提供体制は

大坪　隆成 議員

**人口減少が進む将来、へき地などで介護サービスが不足する可能性を見据え、地域に応じた提供体制の確保について質した。**

答 将来的には介護職員の人材不足や民間事業所の経営難により、特にへき地でサービス不足となる可能性も否定できない。特定地域サービスなどは、中山間地の訪問系サービス継続の一つの手段として着目している。へき地では、障がい者、子どもなどを含めた多機能的な福祉事業や様々な事業との複合も視野に地域とともに在り方を考えたい。一定の都市機能がある地域は直営施設や指定管理施設を縮小し、民間事業者に手腕を発揮していただく中で、時代に即した介護サービスの提供体制を確保したい。



社会福祉協議会HPより



## 温暖化対策推進法に基づいた取組状況は

山田　智志 議員

**世界各地で異常気象による災害が相次ぎ、地球温暖化との関連が指摘されている。当市の温室効果ガス削減の取組を問う。**

**問** 令和6年10月議決の本庁舎など省エネ化改修空調工事の効果は

**答** 設計の51・8％削除見込に対し、令和7年度末実績は72・7％と想定を上回る削減効果を確認し、電気・灯油代で前年度比計255万円を削減した。

**問** 昨年度の温室効果ガス排出量、基準年度比削減率及び今年度の削減計画は

**答** 昨年度の排出量等は現在取りまとめ中でまとまり次第、公表する。今年度は事業効果の大きい13の公共施設で、民間資金等を活用し照明設備LED化事業を予定している。




BELS(建築物省エネルギー性能表示制度)認証プレート



## 市北部の整備と再編は

北山　浩樹 議員

**中部縦貫自動車道の開通で道の結節点が生まれる好機に対し、市の考え方を伺う。**

**問** 「北の玄関口」白鳥地域の公共施設見直しと合併記念公園の機能強化をどう進めるか

**答** 白鳥振興事務所周辺の敷地全体における望ましいあり方を精査する。合併記念公園は機能・ハード面でも充足しており、災害時にも問題ないと認識している。

**問** 高規格道路が次々と交差する本市の未来に向けたビジョンをどう描くか

**答** 白鳥地域が秘めている北の玄関口としてのポテンシャルを踏まえ、市民の意見を集約した立地適正化計画を策定する。




高規格道路の優位性

## クイズの答え《 第90号出題 》

**正解は　問1②2つ　問2①ゆかた議会**
**問3③ワクワク**

ご応募いただきありがとうございました。応募総数は109件でした。
いただいた貴重なご意見やご感想は、議員及び執行部が全て拝読しております。
抽選の結果、当選された10名の方には、郡上市商品券をお贈りいたしました。
なお、ご応募いただいた方の個人情報は、目的以外には一切使用いたしません。

# 皆さんからの声

**クイズにご応募いただいた方からのご意見ご感想の中から、一部を要約して紹介します。**

- 頑張って下さい。でも、私の声が届くようには思えない。　白鳥　30歳
- 今、この地域では、何に注目していて、地域をより良くしていこうと考えているのかが、読み取れて読み応えがあるなと感じます。クイズの応募や、議員と喋ろうの申し込みなどもQRコードの読み取りで済むのが応募しやすかったです。より色々な世代に関心が高まると思います。　白鳥　71歳
- 郡上の自然と文化を生かした産業と企業の誘致を進め若者が夢を持って働ける場と暮らしをつくり魅力あるまちづくりを目指していってほしいです。また福祉の街としても地方だからできないではなく地方だからこそ障害を持っている人も安心して暮らしていけるよう街づくりができれば魅力ある街となり人が集まるのではないかと思います。　大和　38歳
- クイズに答える為に念入りに読むようになりました。毎回楽しみです。　八幡　63歳
- 郡上市広報誌では分からない郡上市の側面を深く知ることができ、今何が課題で、どのように対応しているのか、行われるのかがよく分かります。　高鷲　11歳
- ゆかた議会は郡上市らしくて良いと思うのでいつまでも続けてほしいです。　八幡　65歳
- クイズ応募が以前より増えた気がします。それだけ市政に関心の目が向けられるようになってきたということなのでこのクイズも役立っていると感じます。　八幡　28歳
- 新しい改革が色々伝わってくるので、今後ともオープンな情報発信して貰いたいと思います。　明宝　79歳
- クイズがあることを初めて知りました。いつもパラパラ見るだけで。しっかり読む機会と支えてくださる皆様のお話から郡上市を思うお気持ちを知りました。私もその一人になっていけたらいいなと感じました。　大和　67歳
- 郡上が今どんな政策で、どんな話し合いが行われているのかが知れるのでありがたいです。これから未来を真剣に考えなければ行けない年代になってきたので郡上市がより良く住みやすい市になっていくと嬉しいです。　高鷲　81歳
- 郡上のワクワクを見つけよう「議員としゃべろう」はとてもいいことです。議会や議員をもっと身近にすることは私のように年よりはうらやましいことです。おおいにやってほしいです。　美並　59歳
- クイズに応募するために、初めてちゃんと読みました。クイズがあることで議員が何をしているのか少し知ることができました。もっと読みやすくして、若い人にも広げていけたらいいと思います。　白鳥　78歳

## 議長のお部屋

### 議会の昼休みに地震がきた

議長　田中 義久

9月10日のお昼頃、地響きとともに庁舎が揺れました。地震です。この日は9月定例会の一般質問の初日。午前の3人が終わり、議員控室で弁当を食べようとした矢先のことでした。テレビの地震速報ではマグニチュード3・8、郡上市は震度2、震源地は美濃中西部とありました。

地震は揺れが始まってから、それで収まるのか、さらに大きく揺れるのかが分からない不安があります。今回はそれで収まりましたが、私は、午後の本会議再開にあたり、議長として次のように呼びかけました。

「先ほど地震がありました。大きな地震が起きれば、天井が崩落するかも知れません。議会中でも自分自身で直ちに身を守る行動をとってください。議会の手続きは、その場合は自動的に中断するように局長と協議しました。」誰かに指図されてから行動するのではなく、私たちが持つ五感で自ら素早く行動することが大事です。

議長になってから県内外への出張が多く、省庁や国会議員への提言・要望活動では東京行きとなります。夏前に、宿泊先の高層ホテルで2回地震に遭遇し、正直怖かったです。

このところ、国内では、大地震、桁外れの集中豪雨（線状降水帯）、海外でも山火事、氷河融解による大土石流など毎日のように記録的な災害が発生しています。「備えあれば憂い無し」のレベルを超えた感もありますが、国では今秋に防災庁が新設されます。災害予防、応急対応、復旧・復興までを含む「防災」全般を統括する新しい政府機関です。

郡上市が時宜良く、今春新設した防災安全課と共に市民の自助・共助・公助を的確に推進し、防災効果が進展されるよう議会としても重点課題として取り組んでいきます。



写真は、中部縦貫自動車道等の整備促進を求めるオール高層ビル会議（東京都千代田区）

# こども議場見学会 ―「議員の仕事」を自分の目で、自分の言葉で


お話を聞く子どもたち

令和８年８月22日、市内小中学校から小学５年生から中学２年生までの19人が議場見学に参加しました。委員会室や議員控室をめぐる議場探検から、議会に関する○×クイズや、議員への直接質問まで。この企画は主権者教育の一環として、広報広聴特別委員会が担当しました。


田中議長

## 「議員は何をしているの？」子どもたちのリアルな疑問

事前に寄せられた質問は、「郡上市をよりよくするために議員は何をしているの？」「仕事で楽しいのはどんなとき？」「どんな課題を知ってほしい？」など、率直で本質的なものばかりでした。

議場では議長の進行のもと、議員が執行部席に座り、子どもたち一人ひとりの質問に順番に答弁。


○×クイズの様子


修了証を受け取る

○×クイズを交えた議会探検では、委員会室や正副議長室を実際に歩き、普段見ることのできない場所で議会の仕組みを体感してもらいました。

アンケートには「議員になってみたい」という声もあり、政治を自分ごととして捉える入り口になったようです。

子どもたちが自分の疑問を言葉にし、大人がそれに正面から答える―この小さな積み重ねこそが、投票権を得る前から始まる主権者教育の土台であり、郡上市議会はこれからも継続して取り組んでいきます。


議長席で写真撮影


長岡副議長

郡上市
# 議会だより
第91号
◆令和8年11月1日

# クイズに答えて〝郡上市共通商品券〟をゲットしましょう！

正解者の中から、抽選で10名の方に郡上市商品券をプレゼントします。

**Q1** ９月議会で国へ提出した意見書は？
① 濃飛横断道の促進　② 観光客の冬季安全対策
③ 非核三原則の堅持

**Q2** 令和７年度一般会計歳出の決算額はおよそ？
① 113億円　② 290億円　③ 317億円

**Q3** 議会中に地震が！ どう対応するかの議長見解は？
① 議会事務局長の指示　② 議長の指示
③ 自分自身の判断

ヒントはこの議会だよりの中にありますので、よく読んで探してください！

## 応募方法

●クイズの答え
●郵便番号
●住所（番地まで）
●氏名
●年齢

上記の項目をご記入いただき、はがき、ファックス、二次元コードのいずれかからご応募ください。

## あ て 先

〒501-4297
郡上市八幡町島谷228番地
郡上市議会　議会事務局　FAX67-1821

**締切：令和8年11月24日（火）**
※当日消印有効

※当選者は商品券の発送をもって発表に代えさせていただきます。
※いただいた個人情報は目的以外に使用しません。

ご応募に合わせて皆さんの声もぜひお寄せください。
お寄せいただいたご意見の一部について内容を要約し、無記名で次号に掲載させていただきます。

◆発行・編集責任者
岐阜県郡上市議会議長　田中　義久

◆所在地　岐阜県郡上市八幡町島谷228番地　〒501-4297
電話 0575(67)1830(直通)
FAX 0575(67)1821

## 編集後記

「桃栗三年、柿八年、柚子の大馬鹿十八年」ということわざがあります。確かに、私は柚子の種を植えて10年以上たちますが、いまだに実がなりません。

先日、郡上市議会では「こども議場見学会」を開催しました。子どもたちが自分たちの暮らす郡上について考え、堂々と質問する姿に、頼もしさを感じました。

こども議場見学会も、すぐに結果が出るものではないかもしれません。しかし、議会や市政に関心を持つことは、未来への大切な「種まき」だと思います。

いつの日か、ここに参加した子どもたちの中から、市長や議員、あるいは郡上の未来を担う人が生まれたら、これほどうれしいことはありません。

柚子は気長に。子どもの未来も、気長に、そして大切に育てていきたいものです。

長岡　文男

広報広聴特別委員会
●委員長　みずのまり
○副委員長　野田かつひこ
○委員　田代まさよ　長岡文男　蓑島正人　和田樹典　有井弥生　北山浩樹

## 12月定例会の予定

| 月　日 | 曜日 | 会議の内容 |
|---|---|---|
| 11月20日 | 金 | 議会運営委員会・全員協議会 |
| 11月25日 | 水 | 総務常任委員会協議会 |
| 11月26日 | 木 | 産業建設常任委員会協議会 |
| 11月27日 | 金 | 文教民生常任委員会協議会 |
| 12月２日 | 水 | 開会 |
| 12月３日 | 木 | 予算特別委員会・本会議 |
| 12月７日 | 月 | 一般質問 |
| 12月８日 | 火 | |
| 12月９日 | 水 | |
| 12月10日 | 木 | 総務常任委員会 |
| 12月11日 | 金 | 産業建設常任委員会 |
| 12月14日 | 月 | 文教民生常任委員会 |
| 12月17日 | 木 | 議会運営委員会 |
| 12月18日 | 金 | 閉会・全員協議会 |

※開会時間は原則９時30分です。
日程・時間は変更になる場合があります。

UD FONT
見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
Gifu ebooks
議会だより
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。